

筑西遊湯館 空調機器更新工事

仕 様 書

筑西広域市町村圏事務組合

## 目 次

第一章	工事概要	．．．	1 頁
第二章	機器仕様及び工事内容	．．．	2～5 頁
第三章	安全衛生及びその他	．．．	6～8 頁
第四章	補足事項	．．．	9 頁

## 第一章 工事概要

1. 適用 本仕様書は、筑西広域市町村圏事務組合 筑西遊湯館空調機器更新工事に適用する。
2. 目的 1階ロビー・受付系統、2階トレーニングジム・廊下系統空調機器を更新することを目的とする。
3. 施工場所 茨城県筑西市下川島 471-2  
筑西広域市町村圏事務組合 筑西遊湯館内
4. 工事項目
  - (1) 1階ロビー・受付、2階トレーニングジム・廊下空調室外機・室内機器更新
  - (2) 更新機器に適合するための配管・ダクトの改修
  - (3) 1階ロビーエキスパンドメタル天井解体・補修・復旧
  - (4) 更新機器に適合するための電気工事
  - (5) 既設空調機器の既設撤去
5. 施工期間 契約締結日の翌日～令和7年11月20日  
※工程については事前に筑西広域市町村圏事務組合（以下「甲」という。）の担当者と協議すること。  
ただし、空調機器は令和7年9月2日より使用可能とすること。
6. 一般事項
  - (1) 本工事に係る法令、条例、約款及び規格等に基づき実施するものとする。
  - (2) 工事内容については、第二章以降を参照のこと。
  - (3) 令和7年9月2日より空調機器の使用ができない場合には営業損害賠償金を負担すること。  
ただし、金額は甲の担当者より提示する。

## 第二章 機器仕様及び工事内容

### 機器仕様

#### 【1階ロビー・受付系統】

系統	OPAC-1-3
空調室外機	更新専用室外機（400 型） ビル用マルチ 冷房能力：40.0kw 暖房能力：45.0kw 圧縮機：(12.3×1) (電動機出力×台数) 電源：3 相 200V 50Hz アクティブフィルター（内蔵型用） 保護網 公共建築工事標準仕様

空調室内機	PAC-1-3-1・PAC-1-3-4 ビル用マルチ室内機 天井埋込ダクト形 冷房能力：7.1kw 暖房能力：8.0kw ファン電動機：300W 電源：単相 200V 50Hz 運転リモコン：液晶ワイヤード ロングライフフィルター フィルターチャンバー
-------	---

空調室内機	PAC-1-3-2・PAC-1-3-3 ビル用マルチ室内機 天井埋込ダクト形 冷房能力：11.2kw 暖房能力：12.5kw ファン電動機：350W 電源：単相 200V 50Hz 運転リモコン：液晶ワイヤード ロングライフフィルター フィルターチャンバー
-------	---

## 機器仕様

### 【2階トレーニングジム系統】

系統	OPAC-2-3
空調室外機	更新専用室外機（450 型） ビル用マルチ 冷房能力：45.0kw      暖房能力：50.0kw 圧縮機：(13.7×1) （電動機出力×台数） 電源：3 相 200V 50Hz 室外機連結配管キット 2 連用 アクティブフィルター（内蔵型用） 保護網 公共建築工事標準仕様
空調室内機	PAC-2-3-1・PAC-2-3-2 ビル用マルチ室内機 天井カセット形シングルフロー 冷房能力：7.1kw      暖房能力：8.0kw ファン電動機：78W 電源：単相 200V 50Hz 運転リモコン：液晶ワイヤード、ワイドパネル
空調室内機	PAC-2-3-3×2 台・PAC-2-3-4×2 台 ビル用マルチ室内機 天井ビルトイン形 冷房能力：7.1kw      暖房能力：8.0kw ファン電動機：230W 電源：単相 200V 50Hz 運転リモコン：液晶ワイヤード 吸込ハーフパネル（ブラック） 吸込パネルキャンバス

## 工事内容

### 1. 室外機

- ① 1階ロビー・受付系統室外機 OPAC-1-3 冷房能力：35.5kw 暖房能力：40.0kw から冷房能力：40.0kw 暖房能力：45.0kw に能力アップする。
- ② 室外機更新により既設架台を再利用することはできないので架台を製作し、室外機を設置する。既設架台部に生じる開口部は施設責任者と協議の上、安全策を講じること。
- ③ 既設配管と更新機器配管とは異なるので更新機器に適合した配管へ改修する。
- ④ 更新機器は集中管理システムに適合するようにする。
- ⑤ 室外機搬入時のクレーン通路は全て鉄板敷きをする。
- ⑥ その他、別紙内訳書参照及び令和4年度版公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編・電気設備工事編）を適用する。

### 2. 室内機

- ① 天井カセット形シングルフローは既設室内機と開口寸法に違いがあるのでワイドパネルを取付し、隙間のないように取付する。
- ② ダクト形空調室内機は既設機器と更新機器とは寸法の違いがあるので更新機器に適合するダクトに改修して接続する。
- ③ 更新機器は集中管理システムに適合するようにする。
- ④ 既設室内機寸法と更新用新設室内機の寸法に違いが生じるので機器接続には配管・ダクトの改修を行い、既設配管・ダクトを再接続する。
- ⑤ 室内機は振止め固定する。
- ⑥ その他、別紙内訳書参照及び令和4年度版公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編・電気設備工事編）を適用する。  
特に第3編空調和設備工事、第4編自動制御設備工事を熟読し、工事を行うこと。

### 3. 建築工事

- ① 1階ロビーのエキスパンドメタル天井は空調室内機更新に必要な部分の取外しを行い、更新後再取付し、復旧する。
- ② 2階トレーニングジム・廊下空調室内機更新に障害となる合板吊天井（約1250×12000×80 t）2面を取外し、更新後再取付し、復旧する。

### 4. 電気工事

- ① 空調室外機のブレーカーは全て新規ブレーカーに交換する。

- ② 空調室外機・空調室内機電源は離線・結線し、復旧する。
- ③ 更新工事に障害となる天井に取付されている器具は取外し、再取付復旧する。
- ④ 空調機器の自動制御配線の離線・結線・復旧も電気工事とする。
- ⑤ 1階ロビー・受付天井のエキスパンドメタル天井と躯体との間に付いている器具の内、空調室内機更新に障害となる器具は取外し、更新後再取付復旧する。

## 5. 撤去工事

- ① 既設空調機器撤去をする。

## 特記事項

- ① 工事内訳書及び令和4年度版公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編・電気設備工事編）に基づく工事に不備や誤りを甲の担当者より指摘された場合には、速やかに修正・手直し及び取替え等を行うものとし、この場合に要する一切の費用は請負者の負担とする。  
また、本件工事は機器の更新工事のため、配管・配線等の施工上による増額は認められない。
- ② 本工事にて定めのない事項が生じた場合は甲の担当者と協議の上、決定すること。

### 第三章 安全衛生及びその他

#### 1. 甲への提出書類

受注者（以下「乙」という。）は本仕様書に基づき、契約締結後5日以内に下記の書類を提出すること。（任意様式）

- ① 着工届
- ② 現場代理人届
- ③ 工程表

#### 2. 安全衛生

(1) 工事に当たって乙は、作業前に作業方法、手順及び安全対策等、十分な安全対策を施すこと。

(2) 乙は、工事期間を通じ「労働安全衛生法」等関係法令を遵守し、かつ関係法令に定められた事業者としての責を負うものとする。

(3) 安全衛生に関し、乙が必要とする諸官庁への手続きについて下記の書類を提出する場合は、甲の承諾を受けるものとする。

- ① 有資格者名簿
- ② 作業員名簿
- ③ 工事に伴う機器（電気器具）の持込使用届
- ④ その他

#### (4) 工事日報の提出

乙は、安全衛生管理組織表を基に工事期間中の「労働安全衛生法」等の諸規定にのっとり現場諸設備の事前点検、工事中の管理状態の点検を実施し作業監督者及び作業員に対する指導内容等を記録した工事日報を甲に提出するものとする。

また、必要に応じ工事打合せ簿（任意様式）を作成し、甲の承認を得ること。

#### (5) 工事以外の火気管理

乙は、休憩所での喫煙及び電熱器などの火気を使用する場合は、事前に甲の許可を得た後に使用し、火元責任者を定めて管理しなければならない。



### 3. 工事に伴う甲からの貸与品

下記については、甲から乙に無償支給・貸与する。

※現状に復して返却するものとする。

- (1) 工事に伴う電力、水
- (2) 甲から指定された工事関係者駐車場、仮設事務所及び仮設休憩所設置場所としての甲からの指定する場所
- (3) 甲から指定された材料・機材・廃材の置場

### 4. 工事に伴う乙の負担品等

- (1) 甲が指定する材料、資材及び器材（足場材等）
- (2) 解体に必要なエアーコンプレッサー
- (3) その他必要とする資材、工具及び消耗品

### 5. 廃材の取扱い

- (1) 廃材を施設内に仮置きする場合に必要なコンテナ及びフレキシブルコンテナバッグ等については、乙にて準備し、廃材が飛散ないようにシートやコンクリートパネルにて養生すること。
- (2) 本工事に発生した廃材については、乙が適切に産業廃棄物として処分すること（マニフェスト提出含む）を原則とするが、甲が必要とするもの（鋼材等の有価物）については、甲の指示によるものとする。

### 6. 立会及び試運転の助勢

立会等のために必要とする設備の準備、資材の提供及び総合試運転については、乙が甲の運転管理委託者に助勢すること。

### 7. 工事の誤り又は不備

乙は、工事の誤り又は不備を甲から指摘された場合は、速やかにこれを修正、手直し及び取替え等を行い検査を受けるものとし、この場合に要する一切の費用は乙の負担とする。

### 8. 検査

- (1) 工事完成後、甲の完成検査に合格した後、乙は工事引渡しができるものとする。
- (2) 工事完成時に提出する報告書の内容は別途指示する。

### 9. 疑義

工事内容に疑義又は不都合が生じた場合は、甲、乙両者で協議するものとし、甲の指示に従い工事の進捗に支障をきたさないよう配慮する。

#### 10. 保証期間

引渡し後の故障は、筑西広域市町村圏事務組合財務等に関する規則において準用する筑西市建設工事執行規則様式第1号別紙（履行条項）のとおりとする。

#### 第四章 補足事項

##### 1. 資材等の県産品優先調達

乙は、地場産業の活性化を図るため、建設資材・物品等調達については茨城県産品の使用により一層努めること。

茨城県産品とは次の（1）及び（2）に示すものとする。

- （1）県内の工場等（本店が県内にあり、工場が県外にある場合も含む）で製造・加工された資材・製品
- （2）茨城県リサイクル認定製品

##### 2. 下請人の圏内建設業者の優先選定

乙は、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を筑西広域圏内（筑西市・桜川市・結城市）に本店を有するものの中から選定するよう努めること。